

平成 31 年 2 月 10 日作成

研究課題名：「ぶどう膜炎後ろ向き疫学調査」

【調査の目的や背景】

佐賀大学医学部附属病院では、最適な治療を患者さんに提供するために、病気の特徴を研究し、診断法、治療法の改善に努めています。このような診断や治療の改善の試みを一般に「臨床研究」といいます。その一つとして、現在ぶどう膜炎の患者さんを対象として、ぶどう膜炎後ろ向き疫学調査に関する「臨床研究」を行っています。ぶどう膜炎の原因疾患構成は人種や世界の地域によって大きく異なっていることが判っています。ですから、世界の他の国から報告されたものは日本のぶどう膜炎の原因がどのようなものであるかということの参考にはなりません。そこで今回、日本の眼炎症学会が中心となってわが国におけるぶどう膜炎の原因疾患について調査することとなりました。日本全国の大学病院を含む 70 以上のぶどう膜炎診療を行っている施設がこの調査に参加しています。この調査に佐賀大学医学部附属病院眼科学教室も参加し、日本のぶどう膜炎の原因疾患構成解明を行ないたいと考えています。

【調査の方法】

佐賀大学医学部附属病院眼科において 2016 年 4 月 1 日から 2017 年 3 月 31 日までにぶどう膜炎の診断で初診された患者さんを対象にします。調査の内容は、年齢、性別、ぶどう膜炎の原因疾患名、罹患部位を診療記録より収集します。診断名が確定していれば、調査票の該当する疾患の患者数をひとつ増やします。この調査票にはあなたの個人情報決して記入されません。記入されるのは患者数のみです。また診断がついていない場合には、「原因不明」の患者数をひとつ増やします。この研究のために新たに検査を追加したり、新たに試料を採取したりすることはありません。調査の方法は、診療録の記載をもとにして過去にさかのぼって調査いたします。研究の対象者となることを希望されない方は、下記連絡先までご連絡ください。

【個人情報の取扱い】

調査情報のうち、患者さんのお名前、住所などプライバシーに関する情報は、すべて匿名化するため、外部に漏れることは一切ありません。また、今回の研究で得られた結果に関しては、医学的な専門学会や専門雑誌などで報告されることがありますが、前述のとおり患者さんの個人情報は守られます。

【調査参加は患者さんの自由であること】

調査への参加は患者さんの自由です、患者さんの自由な意思でお決め下さい。調査対象の

患者さんで、調査に同意いただけない患者さんは下記の間合せ先までご連絡下さい。調査の進行により場合によっては削除出来ない場合もありますのでご了承ください。

【研究計画書など研究の方法に関する資料を入手又は閲覧できること】

本研究の研究計画書など研究の方法に関する資料については、他の研究対象者などの個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内において入手又は閲覧することができますので、ご希望の際には、下記の連絡先までご連絡ください。

【調査への質問・苦情などの連絡先】

本研究に関するご質問等ありましたら、遠慮なくご自由に下記の研究責任者までお尋ね下さい。

研究責任者：佐賀大学医学部附属病院 眼科 教授 江内田寛

担当者：佐賀大学医学部附属病院 眼科 助教 寒竹大地

連絡先：佐賀大学医学部附属病院 眼科 医局

〒849-8501 佐賀市鍋島 5-1-1

電話番号 0952-34-2384（眼科医局直通）